

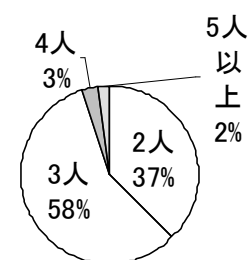
# 安全でゆきとどいた看護がしたいから 考えてみよう、長時間夜勤を



医療が高度化し、在院日数の短縮など「効率化」が進められ、職場は限界を超えた過密労働となっています。後を絶たない退職者や病欠者で職場の人員不足が慢性化、「日勤→深夜」「準夜→日勤」がつらいと急性期病棟での二交替制勤務の導入もすすんでいます。

私たち医療従事者の働き方を考える時に「患者の安全」「働く者の健康」「働き続けられる条件整備」の視点を欠かすことはできません。国立病院機構の二交替制は半数が2人夜勤という実態です。長時間夜勤・二交替制勤務が患者さんにとって、私たち労働者にとってどんな問題があるのか一緒に考えていきましょう。

国立病院機構二交替病棟夜勤体制  
2009.10.1 現在



## 長時間夜勤・二交替制勤務導入に反対する職場の取り組み

### 1. 「導入の動きは全くない」と言う支部

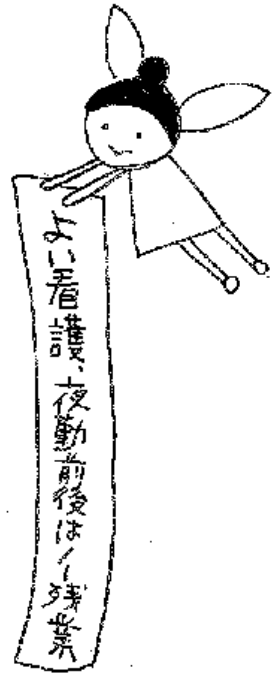
#### 一病院は水面下で情報収集、職員の動向を見ていますー

- 「うちの病院は大丈夫」という考えは捨てましょう。今すぐ「導入反対」の宣伝と施設に導入反対の申入れをしましょう。「長時間夜勤・二交替制勤務はダメ」の雰囲気づくりが大切です。
- 「日勤→深夜」「準夜→日勤」「夜勤前後の超勤」が二交替制導入のきっかけになっています。患者の安全と健康に配慮した勤務表作成の立場から「日勤→深夜」「準夜→日勤」「夜勤前後の超勤」がなくなるよう運動します。

### 2. 職場長が「二交替について考えてみよう」とか、病院が「二交替研修会」を企画していると言う支部

#### 一間違いなく病院は二交替導入を考えていますー

- 急いで各職場や窓口で情報収集しましょう。あわせて「二交替学習会」と病院に「導入するな」の申入れをしましょう。
- 「超勤が多い病棟」「年齢構成が若い病棟」「勤務者が24人以上の病棟」が導入されやすい職場です。病院の計画より早く、長時間夜勤の問題点を宣伝することが重要です。
- 「導入反対署名」や「導入反対はがき」などでの意思表示は効果があります。



### 3. 病院が二交替導入を表明した支部

#### 一導入条件を明確にし、問題点を追及しますー

- 病院はアンケートや面接で導入賛同者を作っています。導入に賛成か反対かを迫るのは仲間の団結を弱めます。患者さんの安全と働くものの健康を守る立場で論議を続けていきます。
- 組合は二交替制導入反対を表明し、病院が計画している二交替開始時期、導入職場、勤務体制、勤務線表、配置人員、休憩場所等を明らかにさせ、問題となる点の改善を求める要求書を提出、団体交渉・窓口で追及していきます。

### 4. 二交替制を実施している支部

#### 一患者の安全と働き続けられる労働環境を求めて運動しますー

- 二交替制職場の実態や要求を退勤時間調査やアンケートでつかみま
- す。
- 集約した内容は要求書にして当局に提出、改善を追求します。
- 二交替と三交替両方を行っている病院は、二交替制導入病棟が拡大しないよう要求書を提出します。

